

2024年辰年 新年のご挨拶

本年2024年、北埼玉吸入療法連携会は10周年を迎えます。当会の運営の中核を担っていただいている杉田薬剤師の言葉です。「10年か… 遠くまで来た気がしますね…」 かように積み重ねることができましたのも、ひとえに皆様のご支持・ご支援の賜物です。心より深く感謝申し上げます。

思い起こせばこの10年、様々なことがありました。始まりは、埼玉県立循環器・呼吸器病センター呼吸器内科と同薬剤部で、吸入薬処方後の指導を円滑にするためにはどうすれば良いか？の協議でした。院外調剤が主体でありましたことから、熊谷薬剤師会様にもご相談したところご参画いただけることになり、熊谷地区吸入療法連携会が発足。指導箋など連携システムを作り、2014年3月に第1回熊谷地区吸入療法連携会勉強会開催。以降、吸入療法指導依頼書・報告書を介した連携が始まりました。さらにはそこからデータを取り、学術論文化したものを第三者による査読・承認を経て、2016年に発表。科学的な妥当性・実効性のある取り組みであるとの評価を得、ホームページを立ち上げて作成したものを広く無償で公開しました。2017年には、隣接する深谷地域の埼玉喘息・COPD研究会と協働し、上位団体として埼玉吸入療法サポートネットワークを開設。同時に、吸入指導者のモチベーションアップを目的に、埼玉吸入指導マイスター制度を開始。2018年には、東松山薬剤師会のご参画に伴い、現在の北埼玉吸入療法連携会と改組。現在に至っております。冒頭の杉田薬剤師の言葉を受け、私は10年前の自分に声をかけたいです。「とうとうここまで来たよ、皆で一緒に」

この10年、吸入療法自体も格段の進化を遂げてきました。製剤の進歩、エビデンスの確立、ガイドラインの制定。十年一昔とはよく言ったもので、めざましいものがあります。我々、北埼玉吸入療法連携会は、強く決意します。今年2024年からこの先もずっと、皆様と共に「吸入療法の普及と発展」そして「地域医療のさらなる向上」を目指していくことを。これからも皆様から変わらぬご支持・ご支援をいただけますと幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

(文 埼玉県立循環器・呼吸器病センター 呼吸器内科 高久洋太郎)